

令和5年度熊本市子ども会連合会活動目標（案） 部分が新規

今日、若者を取り巻く環境や人々の価値観が大きく変化する中、子ども会としても未来を築く子ども達に関わる組織として積極的に責任を果たすことが求められています。

また、子ども会が果たしてきた「地域の子どもは地域で育む」「子どもの手による子ども会」等をスローガンに学社連携・融合の中心的な役割も変わらずに期待されています。

そこで、私たち熊本市子ども会連合会は、子ども達に「わくわく・ドキドキの子ども会体験」を通して「生きる力」を育む子ども会活動の充実・振興を図るために次の活動目標を掲げ、その実現に努めます。

1 子どもの手による子ども会の実現(子どもが求める『魅力ある』子ども会活動へ)

- (1) 子どもの会長等役割を決めて子ども会の組織を確立し、計画・立案の段階から子どもの代表を参加させ、活動の進行や運営等の機会を用意します。
- (2) 育成者・指導者の研修会を充実させ、子ども主体の活動につなげます。

2 子ども会活動の実動・質的向上を図ります。

- (1) 令和3年度にスタートしたSDGsの取組をさらに強化し、市町村での実践につなげます。
- (2) 助成事業を活用し、「わくわく・ドキドキ子ども会体験」を県下にて展開します。
- (3) ニュースポーツ活動を積極的に取り入れ、子ども会活動の展開を図ります。
- (4) 安全啓発活動の研修充実で子どもの安全意識の高揚に努め、認定を受けた指導者の人数を増やします。
- (5) 行事实施前にKYT（危険予知トレーニング）を取り入れ、活動中や活動前後の事故防止に努めます。特に、指導者の事故の減少を図ります。

3 ジュニア・リーダー（JL）及びユース（シニア）・リーダーを育成します。

- (1) 令和4年度九州地区JL研修会くまもと大会の成果を活かし、よりJLの考えを取り入れた取組へ発展させます。
- (2) 単位子ども会、市町村子ども会の育成者・指導者組織を充実するとともに、ジュニア、ユース（シニア）・リーダーの組織づくりを支援します。

4 九州地区子ども会育成研究協議会熊本大会を機に子ども会活動の活性化を図ります。

- (1) 子ども会の課題（会員減少）への建設的な協議を通して県・市町村・単子単位の活動の見直す機会とします。
- (2) 大会を通して熊本県での取組を発信し、更なる発展の機会とします。

5 加入促進のために県子連組織の拡充や子ども会活動の啓発・支援強化します。

- (1) 「課題解決・魅力アップ検討委員会」からの提案プランを全体で共有し、具体化を図ります。（スポーツレクリエーションフェスティバル、協賛事業）
- (2) 県・市町村子連情報等をHPに定期的に公開し子ども会の情報発信に努めます。

6 協賛施設、関係機関・団体とのパートナーシップの強化を図ります。

- (1) 協賛事業の県下全域拡大に向けて市町村子連へのサポート体制を強化します。
- (2) 各種団体・社会教育関係団体との連携や議員連盟（全子連）の周知に努めます。

7 感染症に対応した適切な活動を展開します。

- (1) 個人の判断を尊重しながら、リスクを考慮した適切な対応をします。
- (2) ICTを活用した会議（Web会議）を定例化します。（事務担当者Web会議）